

環境マネジメントシステム導入報告書

（発先）京都市知事 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒623-0054 京都府綾部市非倉町梅ヶ畑20番地	平成 28年 7月 20日 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日東精工株式会社 代表取締役社長 材木 正己
--	--

環境マネジメントシステムの名称	ISO 14001
適用範囲	本社工場・八田工場・城山工場・制御システム工場
導入年月日	2000年5月19日（本社・八田） 2008年7月4日 認証範囲変更（城山・制御追加）
認証番号	E0954 エイエスアール（株）
基本方針	企業活動を展開する上で、環境保全を最重点とし、地球環境と地域環境を守り、社会と調和して豊かな社会の実現に貢献することを目的とします。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>【2015-2018年中期目標】 昨年添付資料と同じ 【2015年目標】 1 CO2排出量を489.9t-CO2（6.4%）削減する（2014年目標比） 2 廃棄物排出量を削減する 3 環境配慮型製品（エコプロダクツ）を拡大する 4 グリーン調達を推進する 5 製品含有化学物質管理を強化する 6 地下汚染対策及び水質汚濁防止を強化する</p> <p>【2016年目標】 1 CO2排出量を97.2t-CO2（1.4%）削減する（2015年目標比） 2 廃棄物排出量を削減する 3 環境配慮型製品（エコプロダクツ）を拡大する 4 グリーン調達を推進する 5 製品含有化学物質管理を強化する 6 地下汚染対策及び水質汚濁防止を強化する</p>
目標を達成するための取組の内容	<p>【2015年取組内容】 1 (1) 電力消費量を110.7万kWh削減（2014年目標比） (2) 灯油消費量を66.6kℓ削減（2014年目標比） (3) LPG消費量を4.7ton削減（2013年実績比） ※ 対売上原単位で1%以上削減（2014年目標比）…4.77以下 2 (1) 6Rの推進 (2) 工程内及び完成品不良の削減 ※ 対売上原単位で1%以上削減（2014年実績比）…2.61以下 3 (1) 環境性能を向上した製品設計・開発 4 (1) 環境負荷がより少ない物品調達 5 (1) 適切な管理のためのしくみ及びルール設定 6 (1) 排水施設、貯油施設、薬液類の管理強化 (2) 緊急事態対応マニュアルの整備と訓練実施</p> <p>【2016年取組内容】 1 (1) 電力消費量を19.4万kWh削減（2015年目標比） (2) 灯油消費量を4.0kℓ削減（2015年目標比） (3) LPG消費量を4.5ton削減（2015年目標比） ※ 対売上原単位で2%以上削減（2014年目標比）…4.72以下 2 (1) 6Rの推進 (2) 工程内及び完成品不良の削減 ※ 対売上原単位で2%以上削減（2014年実績比）…2.58以下 3 (1) 環境性能を向上した製品設計・開発 4 (1) 環境負荷がより少ない物品調達 5 (1) 適切な管理のためのしくみ及びルール設定 6 (1) 排水施設、貯油施設、薬液類の管理強化</p>
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>【2015年進捗状況】 電力委員会、省エネ委員会、生産技術部に削減への取り組み 廃棄物委員会、省資源委員会、生産技術部に削減への取り組み 3 各開発・設計部門を中心に取り組み 4 各調達・購買部門を中心に取り組み 5 各開発・設計・調達・購買部門を中心に取り組み 6 水質委員会、各ブロック・部門にて取り組み</p> <p>【2016年進捗状況】 1 省エネ委員会、生産技術部に削減への取り組み 2 廃棄物委員会、生産技術部に削減への取り組み 3 各開発・設計部門を中心に取り組み 4 各調達・購買部門を中心に取り組み 5 各開発・設計・調達・購買部門を中心に取り組み 6 水質委員会、各ブロック・部門にて取り組み</p>
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>【2015年成果】 1 CO2排出：919.8t-CO2 原単位：4.49 2 廃棄物（リサイクル品除く）：76.4t 原単位：2.33 3-6 各組織にて管理・把握</p> <p>【2016年成果】 半期実績まとめは8月中旬を予定 【評価】 CO2並びに廃棄物の削減において、中期計画及び単年度計画以上の成果をあげて推移しており良好である。</p>
事業活動に係る法令の遵守の状況	<p>【2015年遵守状況】 測定：大気、水質、騒音、振動、浄化槽、他 報告：廃棄物、省エネ、有害物質、特定化学物質、温室効果ガス、リサイクル促進、土壌汚染、他</p> <p>【2016年遵守状況】 半期実績まとめは8月中旬を予定</p>
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>【内部監査】 10月1日-31日 不適合…2件【是正済】 改善の機会…37件 【経営者による見直し】 12月18日 「環境に関する技術も幅広くあるが、同じ手法では同じ結果しか得られないため、様々な情報を収集しながら、上手く取り入れるよう検討すること。達成、未達成に関わらず、その主たる要因を十分に検証・評価し、来年の管理活動に活かすこと。」</p> <p>【外部監査】 3月2日-4日 B（軽微な不適合）…2件 C（改善事項）…1件 4月4日 指摘事項改善報告 4月12日 認証決定通知</p>

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。